

## 5月第2例会「横須賀市長マニフェスト中間検証大会」

開催場所：ヨコスカ・ベイサイド・ポケット

開催日時：2011年5月25日（水）

18:00～20:15（予定）

### 次 第

1. 開 会
2. 主催者挨拶
3. 趣旨説明及び会場内の注意事項説明
4. マニフェスト中間検証結果発表
5. パネルディスカッション
6. 閉 会

#### ■会場での注意事項（ご来場のみなさまへのごお願い）

□次の事項をお守りくださいますようお願いいたします□

- ①出演者の発言を妨げるような言動（ヤジ、私語など）はおやめください。
- ②開会時、閉会時および司会が促した時以外の拍手はおやめください。
- ③出演者のイメージに関わる行為（プラカードの掲示や宣伝活動）はおやめください。

□大会を円滑に運営するために次の事項に御協力願います□

- ①原則として、開会後の入退室は閉会まで御遠慮願います。トイレ等も必ず開会前に済ませて頂けます様お願い致します。
- ②客席からの出演者への直接の質問等は一切ご遠慮願います。
- ③当会が許可をした場合を除いて、ホール内での写真・ビデオ等の撮影・録音は一切ご遠慮願います。
- ④携帯電話等のスイッチはあらかじめお切りください。

上記の事項を守っていただけないために、運営に支障が生じると判断される場合、

退場をお願いすることがあります。あらかじめご了承願います。

## 出演者の紹介（経歴）

### 吉田 雄人 氏 プロフィール



2003年4月、27歳の最年少記録、最高位（5,911票）で市議会議員に初当選され、続く2007年4月の2期目の選挙では、連続最高位及び全国一の得票数（11,442票）で再選されました。2009年には、横須賀市長選に出馬し見事当選を果たされており、33歳で市長当選という若き力でこの横須賀を牽引しておられます。

### 牧瀬 稔 氏 プロフィール



法政大学大学院博士課程人間社会研究科修了。博士（人間福祉）。民間企業、横須賀市都市政策研究所、（財）日本都市センター研究室を経て（財）地域開発研究所研究部勤務されています。そのほか、法政大学現代福祉学部兼任講師、産業能率大学総合研究所兼任講師、東京農業大学国際食糧情報学部非常勤講師、（株）PHP 総合研究所マニフェスト塾主任講師などを兼ねておられます。

### 小塩 良一 氏 プロフィール



1964年生まれ 46歳  
厚木市出身 横須賀市在住 文教大学情報学部広報学科卒  
1987年株式会社タウンニュース社入社。同紙海老名編集室・平塚編集室・大磯中井二宮編集室・海老名綾瀬編集室各編集長を歴任され、2006年横須賀支社新規開設と同時に支社長に就任され、ご活躍されています。なお、2009年には、横須賀市長選挙ローカルマニフェスト型公開討論会にてコーディネーターを務めていただいております。

## マニフェスト中間検証大会の意義

2009年度（社）横須賀青年会議所が実施した横須賀市長選挙に伴う「ローカルマニフェスト型公開討論会」は、市民の方々へ市政に関する意識向上への一助となり、ローカルマニフェスト型公開討論会は青年会議所の運動として定着しています。私たちは提示されたマニフェストは選挙時に掲げるだけではなく、選挙後もその進捗状況と内容を市民が的確に評価・検証をすることで有効に機能していくと考えております。

このマニフェスト中間検証大会の開催により、市政とまちづくりに対する市民の方々の意識向上へと繋がるものと確信しております。

●問い合わせ先：社団法人 横須賀青年会議所 事務局（対応時間 月火水金 9時～15時）  
〒238-0013 横須賀市平成町2-14-4  
TEL046-824-1061 FAX046-824-1060  
ホームページ <http://www.yokosukajc.com/>  
メールアドレス [info@yokosukajc.com](mailto:info@yokosukajc.com)

主催 社団法人 横須賀青年会議所

平成 23 年 5 月 25 日

## 吉田横須賀市長マニフェスト進捗評価報告

吉田横須賀市長マニフェスト進捗評価委員会

### 1 評価方針

#### (1) 評価対象

- ・ 吉田市長の掲げたマニフェストの評価は、「吉田横須賀市長マニフェスト進捗評価委員会」を組織し、掲げられた 10 行政分野（207 事業）を対象に行うこととした。
- ・ 評価は、各行政分野の「点数」と「達成率」を検証した。
- ・ 各行政分野の合計点は、それぞれ異なっている（例えば、Ⅰの自然・環境は 170 点満点であり、Ⅱの医療・福祉は 195 満点など）。そこで、達成率を「100 点満点で何点か」と捉えてかまわない。

#### (2) 評価材料

- ・ ① 市担当課に、マニフェストに掲げられた各行政分野（各事業）について、過去 2 年間（平成 21 年度・平成 22 年度）における進捗状況を明記してもらった。その資料を評価材料とした。
- ・ ② ①の記載事項に関して、適宜、市のホームページ等による公開資料も評価のための補足資料とした。

#### (3) 評価方法

- ・ 進捗評価委員会を組織し、各事業について、各評価委員が個別に評価を行なった。その後、合議により最終的な評価結果を決定した。
- ・ 委員は各事業について 5 点満点で採点するとともに、評価結果の理由を明示した。また、評価の結果から考えられる今後の課題等についても付すようにした。

- ・ 遠藤洋路 株式会社青山社中共同代表
- ・ 金子林太郎 敬愛大学経済学部准教授・博士（経済学）
- ・ 黒住聡子 衆議院議員政策担当秘書
- ・ 牧瀬稔 財団法人地域開発研究所主任研究員・博士（人間福祉）
- ・ 茂原純 株式会社 PHP 研究所公共経営支援センターコンサルタント
- ・ 山村俊弘 株式会社日本アプライドリサーチ研究所主幹研究員

### 2 評価基準

- ・ マニフェストに掲げられた各行分野の各事業の中で、条例制定関係以外については「評価基準①」を設定した。

#### <評価基準①>

評点	基準
0点	施策・事業に着手していない段階・予算等の措置を講じていない段階
1点	施策・事業に着手した段階・予算等の措置を講じた段階
2点	施策・事業の4分の1程度を達成したと判断される段階
3点	施策・事業について、2分の1程度を達成したと判断される段階 (4年間継続的に取り組む定性的な施策・事業は、今回は基本的に本評価となる。)
4点	施策・事業について、4分の3程度を達成したと判断される段階
5点	施策・事業をほぼ達成したと判断される段階

- ・ 条例制定関係は「評価基準②」を設定した。

#### <評価基準②>

評点	基準
0点	全く検討していない段階
1点	検討のための組織(検討委員会等)を設置し、検討を行っている段階
2点	条例素案を公表した段階・パブリックコメント手続を実施している段階
3点	条例案を議会に提出した段階
4点	条例案が議会で可決された段階(条例公布)
5点	条例が施行された段階(条例施行)

### 3 評価結果

総合評価は、【 】点である。

- ・ I 自然・環境「水や緑に親しめる横須賀へ」は、【 】点である。
- ・ II 医療・福祉「いのちを大切に作る横須賀へ」は、【 】点である。
- ・ III 教育「ハコモノづくり」から「人づくりの横須賀へ」は、【 】点である。
- ・ IV 地域経済の活性化「まずは、雇用。そして循環する経済を！」は、【 】点である。
- ・ V 地域自治・市民活動の活性化「市民が主役のまちづくり」は、【 】点である。
- ・ VI 市民サービスの活性化「市民の役に立つ所(市役所)」は、【 】点である。
- ・ VII 市長の姿勢「熱い想いで、全力投球するべきです！」は、【 】点である。
- ・ VIII 財政の再建「将来につけを残さない財政を」は、【 】点である。
- ・ IX 市役所の改革「市民の声を聴く市役所に！ 相談できる市役所に！」は、【 】点である。
- ・ X 「議会マニフェスト」を明らかにしますは、【 】点である。

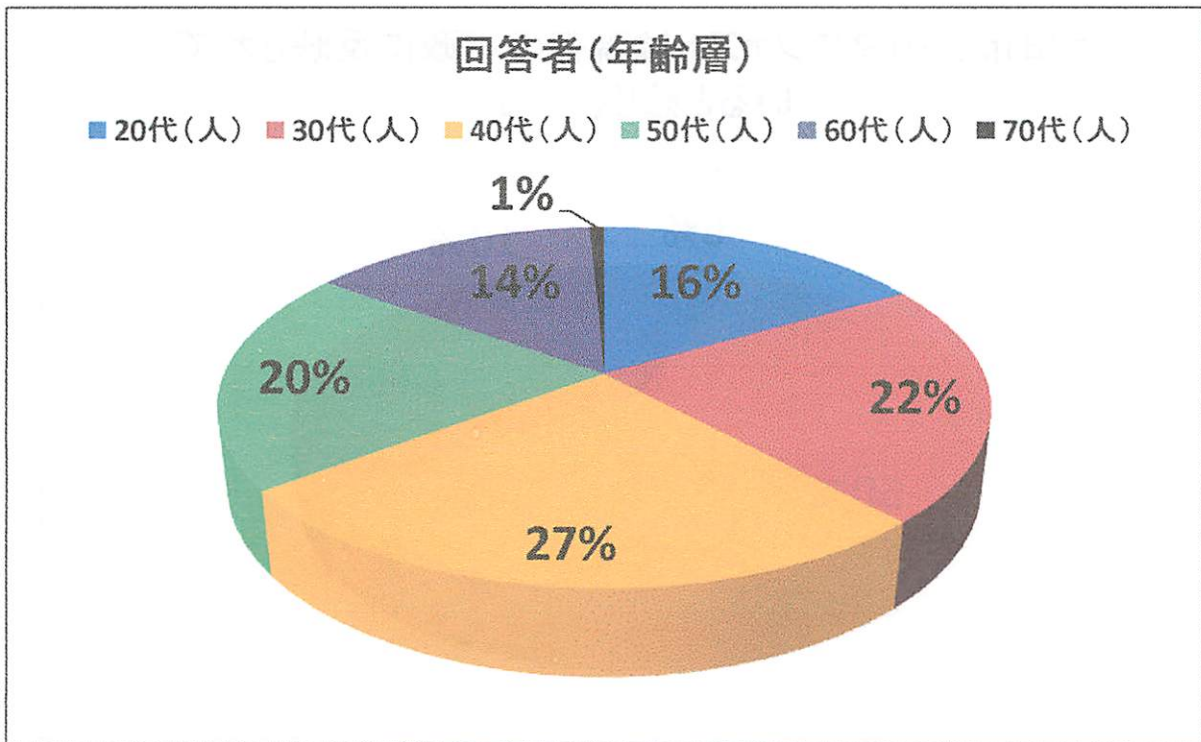
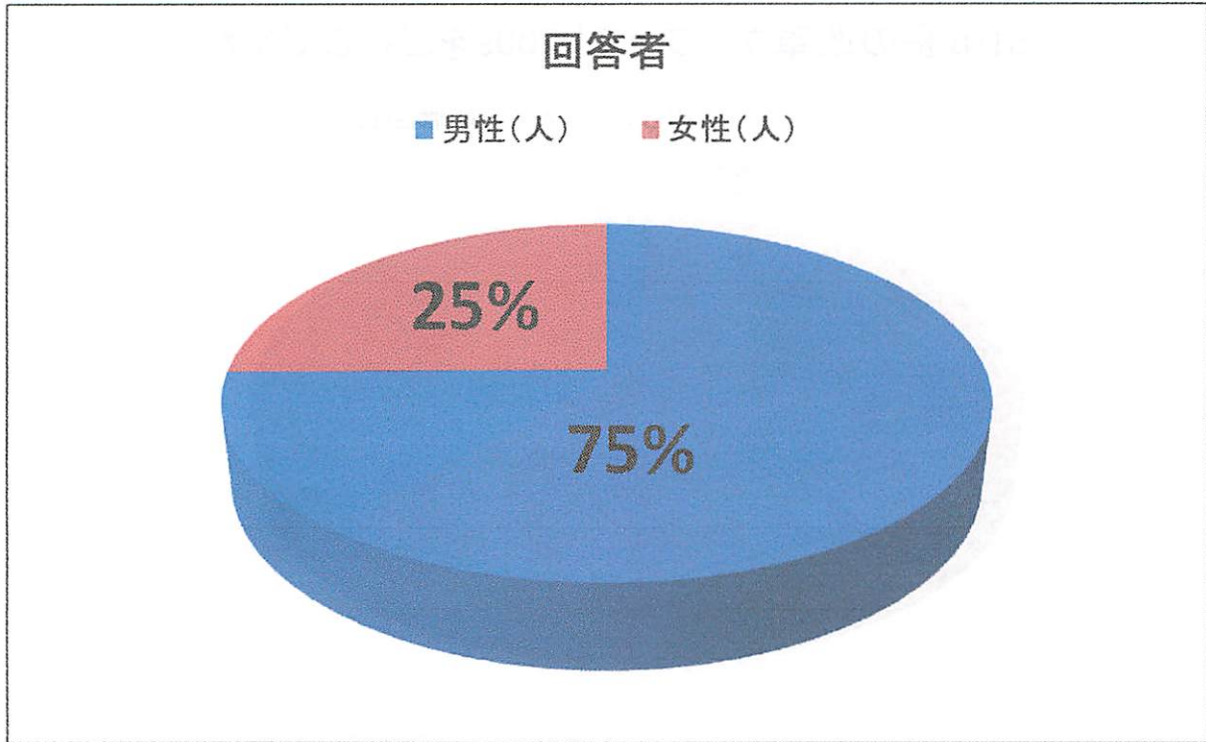
- ・ この数字は、4年間という市長任期の中間段階の評価として、【 】と判断できる(50点以上が及第点と捉えている)。
- ・ マニフェストは市長の任期中に実現を目指すものである。任期後半においてさらに着実かつ積極的な取り組みを期待したい。

#### おわりに

- ・ 各事業の差は激しい現状がある。つまり、評価の高い事業と評価の低い事業と二極化している。
- ・ 今後は、評価の低い事業を着実に高めていくことと、評価の高い事業については、一層の充実を求めたい(100点を目指すのではなく、120点を目指してほしい)。
- ・ これから市長は、市政の原動力ともなるべき、マニフェストの確実な実行に、さらにまい進されることを強く望みます。

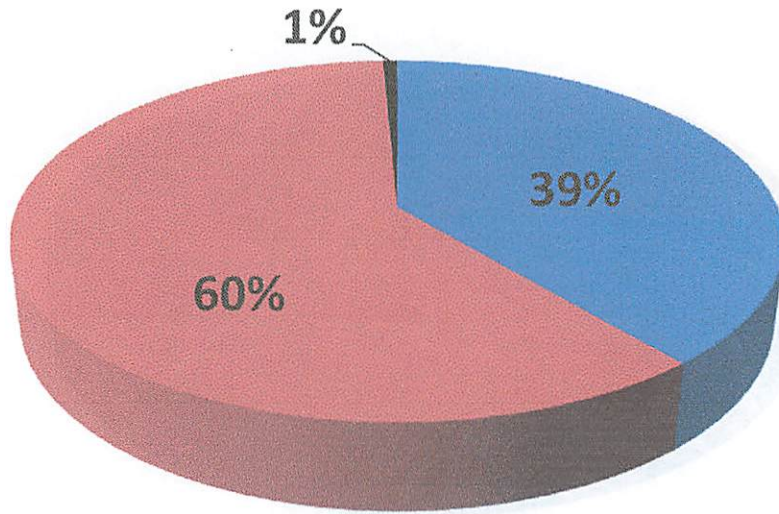
以上

# 事前アンケート結果



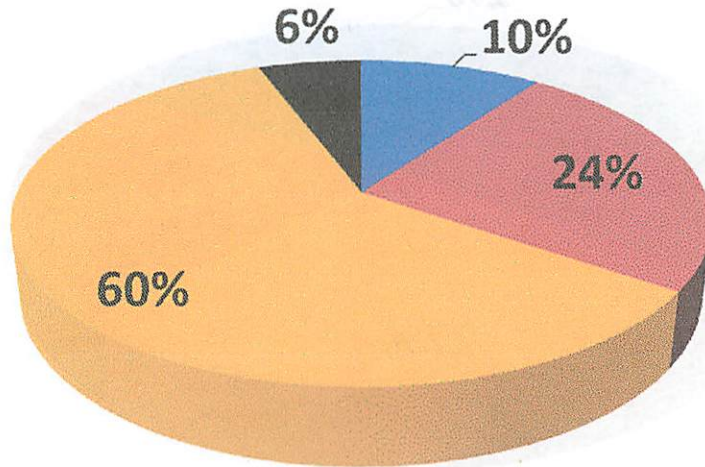
### 吉田市長の改革マニフェスト2009をご存じですか

■ 知ってる(人) ■ 知らない(人) ■ 無回答(人)



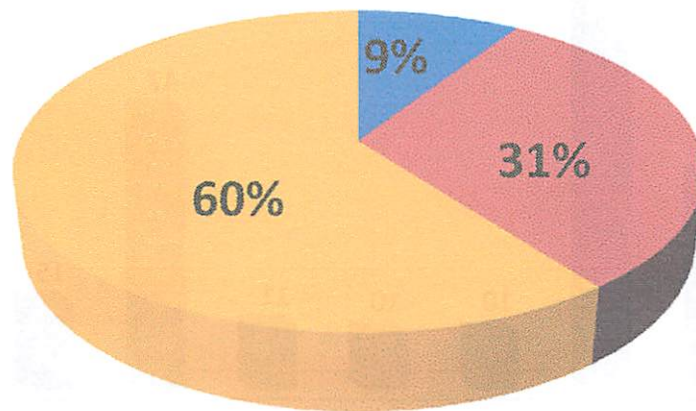
### 吉田市長のマニフェストは現在の市政に反映されていると感じますか

■ 感じる(人) ■ 感じない(人) ■ どちらでもない(人) ■ 無回答(人)



### 吉田市長が横須賀市のリーダーとなって市政の変化がありましたか

■ 変化があった(人) ■ 変化が多少あった(人) ■ 特に感じない(人)



### 吉田市政の政策や方向性、あり方について今後も期待しますか

■ はい(人) ■ いいえ(人) ■ どちらともいえない(人) ■ 無回答(人)

